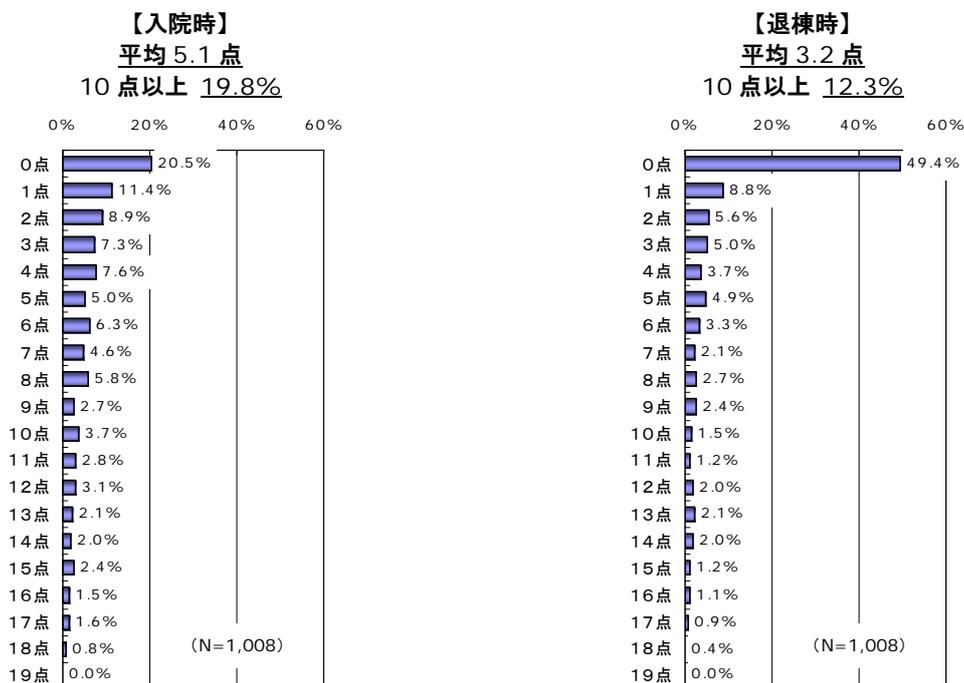


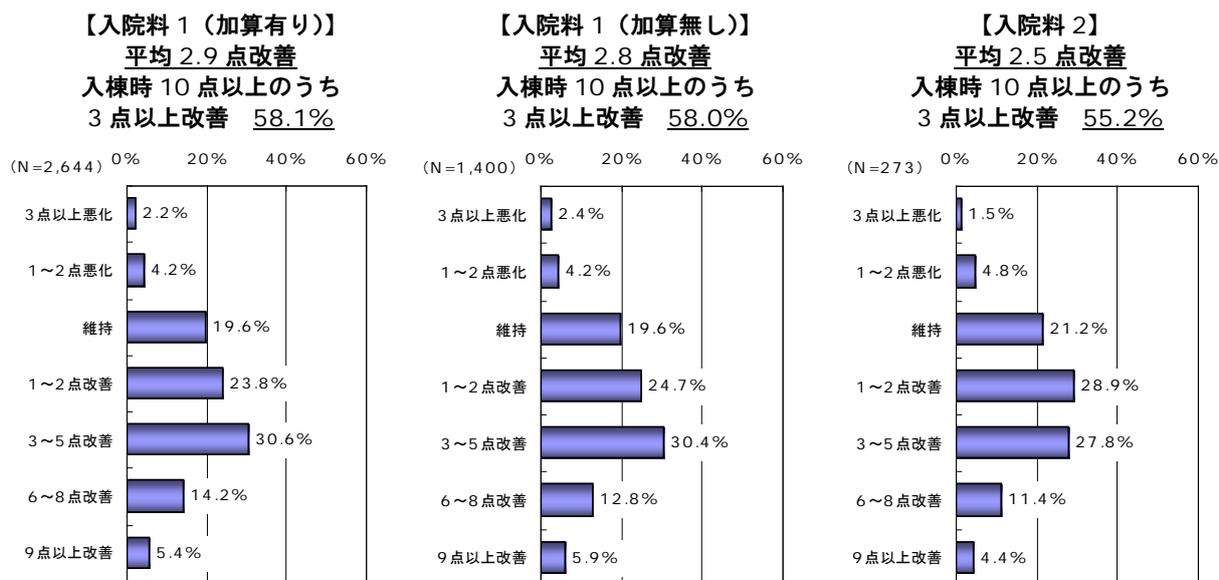
【入院料 2】

⇒ 退棟時における日常生活機能評価：入棟時に比べて平均 1.9 点改善
 入棟時に比べて 1 点以上改善した患者の割合 62.8%
 入棟時に 10 点以上だった患者のうち、退棟時に 3 点以上改善した患者の割合 52.5%



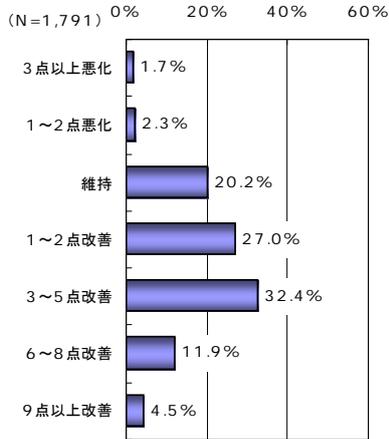
・原因疾患別にみた日常生活機能評価の改善状況（図表 4-33）

【脳血管疾患】

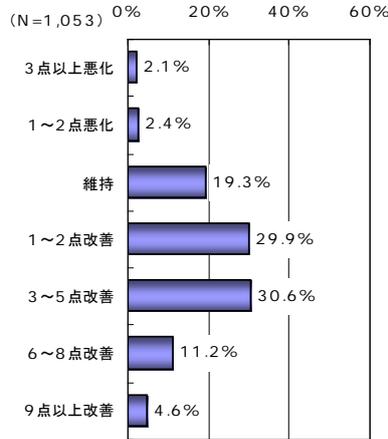


[大腿骨等の骨折、多発骨折]

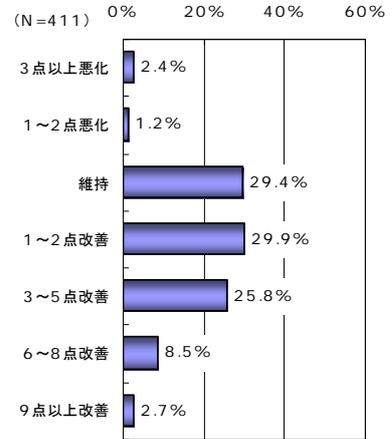
【入院料 1 (加算有り)】
平均 2.8 点改善
 入棟時 10 点以上のうち
 3 点以上改善 72.3%



【入院料 1 (加算無し)】
平均 2.7 点改善
 入棟時 10 点以上のうち
 3 点以上改善 69.3%

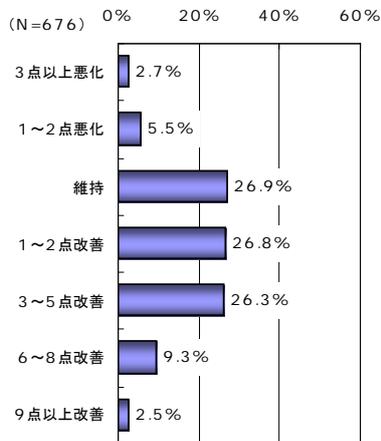


【入院料 2】
平均 2.1 点改善
 入棟時 10 点以上のうち
 3 点以上改善 66.7%

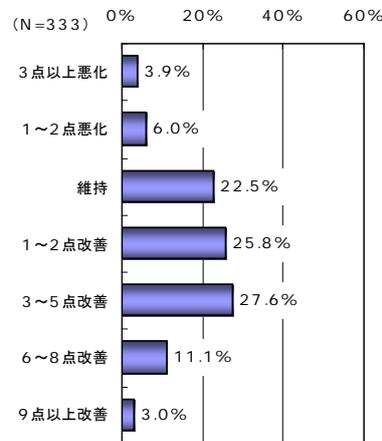


[廃用症候群]

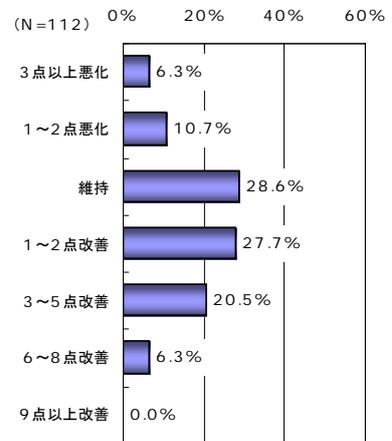
【入院料 1 (加算有り)】
平均 2.1 点改善
 入棟時 10 点以上のうち
 3 点以上改善 52.9%



【入院料 1 (加算無し)】
平均 2.2 点改善
 入棟時 10 点以上のうち
 3 点以上改善 49.5%



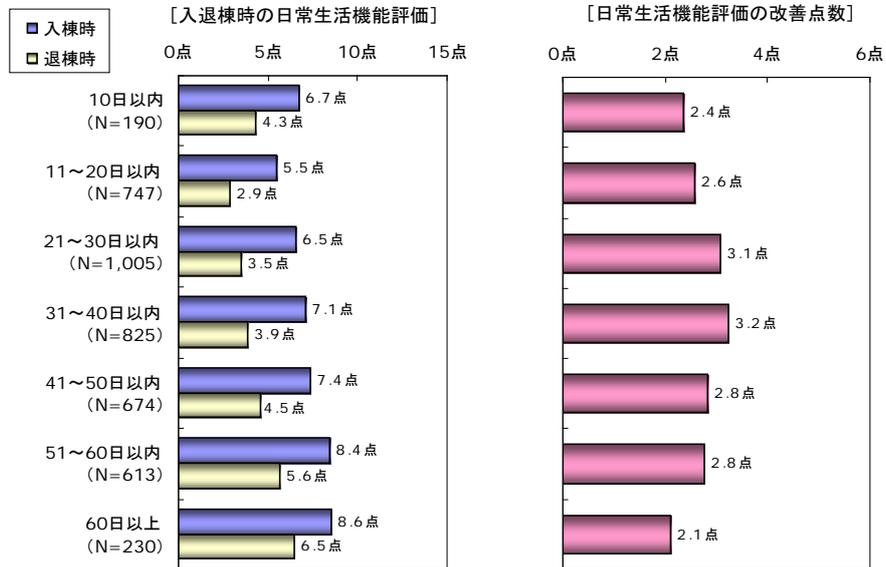
【入院料 2】
平均 1.0 点改善
 入棟時 10 点以上のうち
 3 点以上改善 27.3%



・発症、受傷から入棟までの日数別にみた日常生活機能評価の改善状況（図表 4-34）

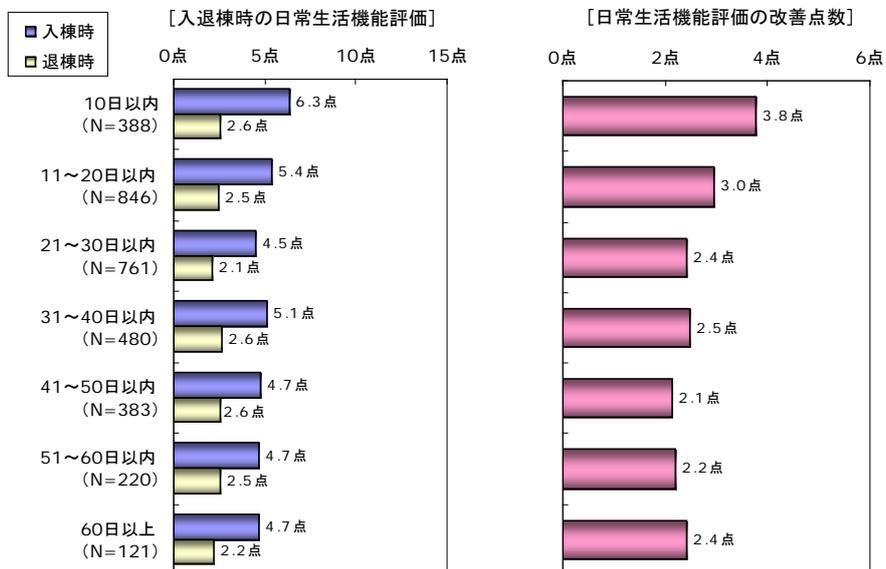
【脳血管疾患】

入棟までの日数 平均 36.0 日



【大腿骨等の骨折、二肢以上の多発骨折】

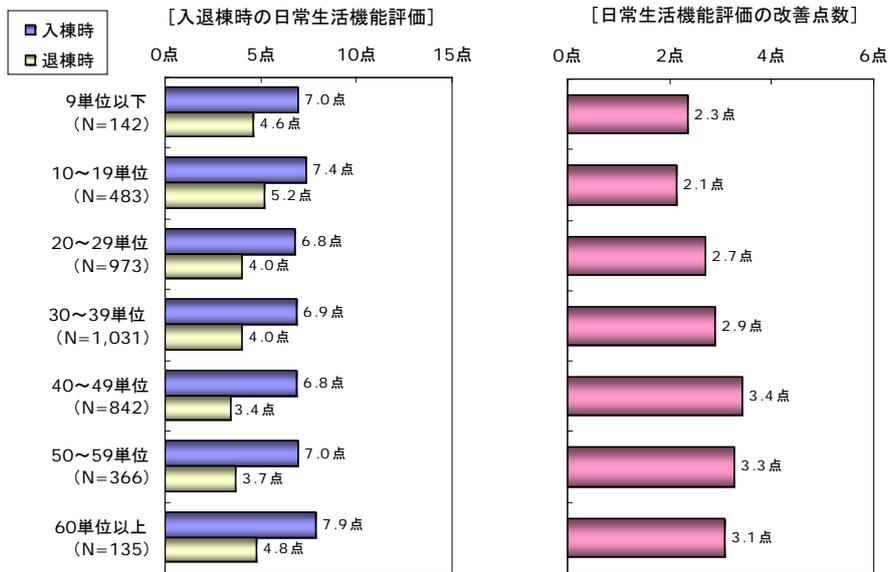
入棟までの日数 平均 28.5 日



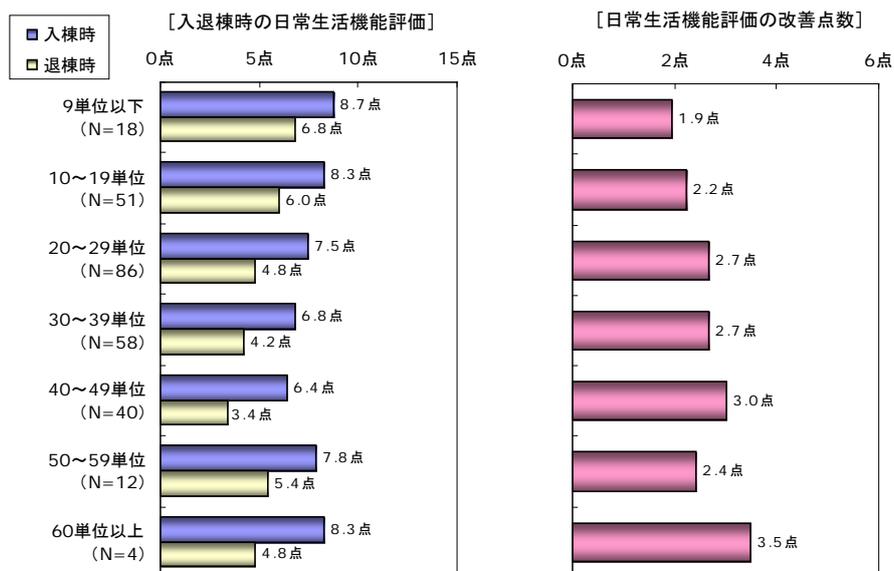
・入棟日の翌週 1 週間のリハビリテーション（理学+作業+言語療法）の実施状況別にみた日常生活機能評価の改善状況（図表 4-35）

【脳血管疾患】

【回復リハビリテーション入院料 1 算定患者】
理学+作業+言語療法の 1 人当たり実施単位数
平均 33.5 単位

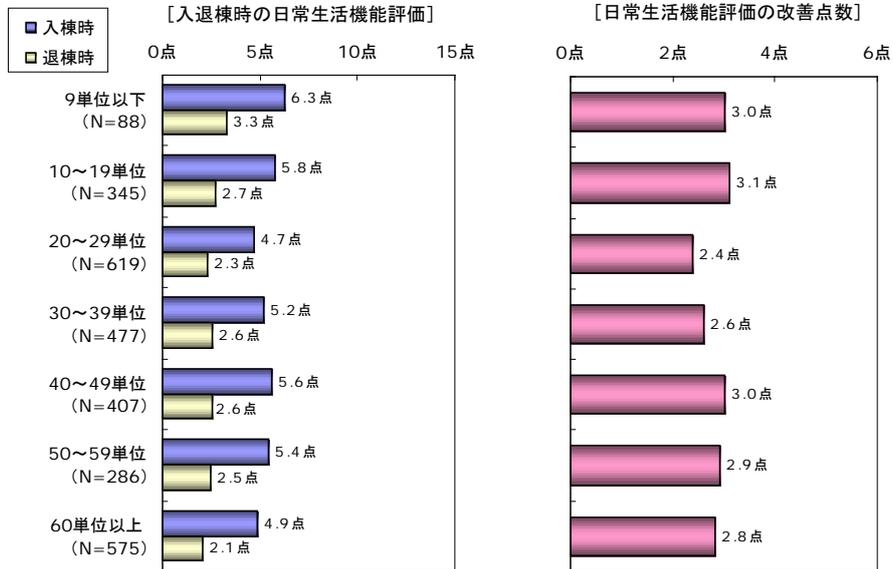


【回復リハビリテーション入院料 2 算定患者】
理学+作業+言語療法の 1 人当たり実施単位数
平均 28.6 単位



[大腿骨等の骨折、二肢以上の多発骨折]

**[回復リハビリテーション入院料 1 算定患者]
理学+作業+言語療法の 1 人当たり実施単位数
平均 40.8 単位**



**[回復リハビリテーション入院料 2 算定患者]
理学+作業+言語療法の 1 人当たり実施単位数
平均 34.1 単位**

